

**TOMICA LIMITED
VINTAGE NEO**

1/64
SCALE

Back to the '90s

「I Love You, SKYLINE.」R32型4ドアに新仕様



↑LV-N194c 日産スカイライン
4ドアスポーツセダン GTS-t Type M
(黒) オプション装着車 92年式

●ここが見どころ●

- ①魅力満載！平成初頭の名車たち
- ②R32スカイライン誕生35周年
- ③グレードによる違いに注目

様々な名車が誕生し、日本車史上のヴィンテージ・イヤーといわれる1989年。平成元年でもあるこの年は、毎月のように新車が現れ、そのどれもが話題をさらう実力を持ったクルマたちでした。その代表格が、5月に発売された8代目スカイライン。いまではR32という形式名の方が有名ですが、走りの良さを追い求めてボディサイズを小型化、当時最先端の4輪マルチリンク・サスペンションを筆頭としたメカニズムなど注目の要素はたくさんありました。もちろんGT-Rの復活が騒がれましたが、ちょっと気の利いたファミリーカーとしてスカイラインのセダンを選ぶ家庭も多かった時代です。

1/64スケールダイキャスト製ミニカー（塗装組立済）
オープンパッケージ
パッケージサイズ（2種共）：
W78mm×H42mm×D40mm（サック箱）
原産地：中国 重量約52g
著作権元商品化許諾申請済

5月
予定

※写真は試作品です。
実際の製品仕様とは異なる場合があります。



↑LV-N194d 日産スカイライン
4ドアスポーツセダン GXi Type X(白)
92年式

TLV-NEOでは2019年の初登場以来、毎回好評のR32スカイライン4ドアですが、今回は後期型の5ナンバー最高性能車GTS-t Type Mと、最もベーシックなGXi Type Xの2種を製品化。GTS-t Type Mはオプションのリアスポイラー、エアロフォルムバンパーを装備した状態を再現しました。GXi Type Xは後期型より装着されるようになったフルホイールキャップを再現。

同じR32スカイラインの4ドアでも全く異なる雰囲気気の2台で、R32が持っていた幅広いキャラクターをお楽しみください。

【文責：トミーテック】

2024年1月にTLVシリーズは20周年を迎えます！